

# 「慢性腎機能障害合併高齢急性心筋梗塞患者の腎機能に対する心臓リハビリテーションの影響」 について

加古川中央市民病院循環器内科では、現在、入院患者さんのうち下記のような患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【研究概要及び利用目的】

急性心筋梗塞患者に対する心臓リハビリテーション（心リハ）は運動耐用能の改善、Quality of life (QOL)の向上、冠危険因子の改善そして生命予後を改善し、日本循環器学会ガイドライン<sup>1)</sup>において急性心筋梗塞後の心リハはいずれも class 1 として推奨され、その有用性は確立されています。また、慢性腎機能障害(CKD)を合併した急性心筋梗塞(AMI)患者への積極的な心臓リハビリテーションは eGFR を改善させることが報告されています。しかし高齢 AMI 患者に対する心臓リハビリテーションの腎機能に対する影響は明確ではありません。そこで本研究目的を CKD 合併高齢 AMI 患者に対する心臓リハビリテーションの腎機能に対する影響を検討いたします。

## 【研究期間】

研究実施期間：病院長承認日～2021年12月31日

研究対象期間：2015年1月1日～2017年3月31日

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

○患者情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、高脂血症、高血圧症、脂質異常症、糖尿病及び喫煙などの冠危険因子の有無、内服薬

○血液・その他：心筋梗塞後のpeakCPK、心リハ開始前のBNP、eGFR、T-chol、TG、LDL-C、HDL-CおよびHbA1cを、心肺運動負荷試験(CPX)項目はATVO<sub>2</sub>、PeakVO<sub>2</sub>、VE/VCO<sub>2</sub>slopeおよびHRR

## 【個人情報保護の方法】

すべての患者さんの情報は匿名化され、第三者にはその情報が誰のものかわからないようにして研究がすすめられます。研究成果の報告においても個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報につきましては本研究に関わる全ての者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管いたします。

## 【データおよび試料提供による利益・不利益】

本研究は既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者に直接の利益、不利益は生じません。

利益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益はありません。

#### **【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】**

この研究で取得した患者情報は、論文等の発表から5年間は保管され、その後は患者を識別する情報を復元不可能な状態にして破棄する。また、患者が本研究に関する使用の取りやめを申し出た際、申し出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄します。

#### **【研究成果の公表について】**

本研究の成果は参加される患者さんの個人情報明らかにならないように匿名化が厳守された上で学会発表や学術雑誌等で公に発表することがあります。

#### **【研究へのデータ使用の取りやめについて】**

研究への参加をお断りになることはいつでも可能です。お断りになられても、その後の診療において不利益を受けることはありません。しかし、研究への参加をお断りになった時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合があることをご了承ください。

#### **【研究期間の研究に係る利益相反及び個人の利益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況】**

研究責任者及び分担研究者に開示すべき利益相反はありません。

#### **【研究代表者】**

加古川中央市民病院 循環器内科 嘉悦 泰博

#### **【問い合わせ窓口】**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 循環器内科

研究責任者名：嘉悦 泰博

連絡先：079-451-5500